

《第2次相生市地域創生総合戦略》  
相生市もっともっと活力上昇計画  
～アクションプログラム～

	頁
戦略目標1 子育て応援のまち相生～自然増対策～ ……	1
戦略目標2 住みたい、帰りたいまち相生～社会増対策～ ……	2
戦略目標3 働く人の希望が叶うまち相生～産業活性化～ ……	3
戦略目標4 安全・安心で住み続けられるまち相生～元気づくり～ ……	4

戦略目標 1 子育て応援のまち相生～自然増対策～

基本方針	将来の本市を担う若い世代が希望を持って結婚をし、子どもを産み育てられるように、結婚から出産・子育て期に応じた切れ目のないきめ細やかな支援を行います。 また、地域全体で子育てを応援できる地域づくりを推進します。							
数値目標	指標	基準値	目標値	実績値				
	合計特殊出生率	R1	R7	R3	R4	R5	R6	R7
		1.59	1.60	1.50				
	達成率 (%)		93.8%					

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	目標値	実績値				
		R1	R7	R3	R4	R5	R6	R7
施策 1	パパママ支援							
	出生数	196人	213人	172人				
		達成率 (%)		80.8%				
	子育てアプリの登録者数	227人	546人	471人				
達成率 (%)		86.3%						
施策 2	子どもたちの成長応援							
	保育所の待機児童数	3人	0人	7人				
		達成率 (%)		△133.3%				
施策 3	地域の子育て応援							
	地域子育て支援拠点の利用者数	15,837人	20,460人	11,775人				
		達成率 (%)		57.6%				
	子育て応援券利用可能事業者数	36箇所	40箇所	38箇所				
達成率 (%)		95.0%						

数値目標に対する評価と次年度以降の取り組み方針	<p>コロナ禍による影響等により出生数は減少し、それに伴い合計特殊出生率が低下したものの、令和2年の国勢調査に基づく合計特殊出生率では、西播磨で下落幅が最も小さく、最も高い率を維持している。これは、子育て世代に対しての経済的負担、心理的負担の軽減を図るため、医療費助成や子育て中の親子の交流支援などの成果であると考えられる。</p> <p>引き続き、各年代に応じた子育てサービスの充実を図るとともに、地域と協働しながら、ソフト面・ハード面の両方において、安心して子育てしやすい環境づくりに努める。</p>
-------------------------	--

戦略目標2 住みたい、帰りたいまち相生～社会増対策～

基本方針	<p>本市からの転出抑制を図ることと併せて、転入者数を増やすため、各種定住施策を充実させます。また、移住・定住希望者に対する情報発信及び相談体制の推進を図ります。</p> <p>さらに、教育環境は定住先を検討する上で重要視されていることから、本市ならではの特色を活かした英語教育の更なる充実を図るなど、子どもたちの将来に幸せを贈れるように幼児期から中学校までを見通した特色ある教育環境づくりを進め、相生市の教育のブランド化を図ります。</p>								
	数値目標	指標	基準値	目標値	実績値				
	社会増減数		R1	R7	R3	R4	R5	R6	R7
			△192人	0人	△213人				
			達成率 (%)		△10.9%				

重要業績評価指標 (KPI)	基準値		目標値		実績値			
	R1	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
施策1	あいおい暮らしサポート							
移住・定住相談件数	13件	25件	45件					
	達成率 (%)		180.0%					
空き家バンクの物件登録件数	10件	15件	14件					
	達成率 (%)		93.3%					
施策2	子どもたちの未来を創るあいおいの教育							
英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の割合	60.4%	60.0%	61.4%					
	達成率 (%)		102.3%					
施策3	あいおいプロモーション							
HP閲覧者数	502,525件	550,000件	683,783件					
	達成率 (%)		124.3%					

数値目標に対する評価と次年度以降の取り組み方針	<p>数値目標である社会増減数は、令和2年度の△225人から微増している。ホームページ閲覧者数の増加においても、定住施策ページの閲覧者数の伸びが一因であると考えられる。また、令和3年度より新たにお試し移住事業を開始し、移住定住の相談件数は増加している。今後も、シティプロモーションを軸として相生市の魅力・情報発信に努めるとともに、相生市に興味を持つ人のフォローを丁寧に行うことで、観光人口、関係人口、移住希望者を戦略的に増やしていき、定住者へとつなげていく。</p> <p>また、英語教育をはじめとした特色ある教育環境を充実させ、相生市の教育のブランド化を一層浸透させることで、定住先として選ばれる環境づくりに努める。</p>							
-------------------------	---	--	--	--	--	--	--	--

戦略目標3 働く人の希望が叶うまち相生～産業活性化～

基本方針	播磨圏域連携中枢都市圏全体で経済成長を目指すとともに、企業、事業者の支援、創業の促進などにより、魅力ある地域産業づくりに取り組みながら、新たな雇用の創出など安心して働ける環境づくりを推進します。 また、本市の豊かな自然、歴史・文化などの地域資源を活用した観光振興を推進するとともににぎわいの創出と交流人口の増加を図ることにより、市内経済の活性化を図ります。								
	数値目標	指標	基準値	目標値	実績値				
	市内事業所従業者数		R1	R7	R3	R4	R5	R6	R7
			12,063人	12,000人	12,063人				
			達成率 (%)		100.5%				

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	目標値	実績値				
		R1	R7	R3	R4	R5	R6	R7
施策1	魅力ある産業づくり							
	新規創業者数	13件 (累計)	15件 (累計)	5件 (累計)				
		達成率 (%)		33.3%				
	支援策を受けて就職した人数	2人 (累計)	25人 (累計)	1人 (累計)				
達成率 (%)		4.0%						
施策2	農水産業の活性化							
	新規就農者数	10人 (累計)	10人 (累計)	0人 (累計)				
		達成率 (%)		0.0%				
	6次産業化商品件数	5品 (累計)	5品 (累計)	1品 (累計)				
達成率 (%)		20.0%						
施策3	地域資源を活用した観光振興							
	観光客数	606,867人	690,000人	402,803人				
		達成率 (%)		58.4%				
	市内宿泊施設利用者数	123,790人	128,000人	103,913人				
達成率 (%)		81.2%						

※累計の指標については、R3を始期とする。

数値目標に対する評価と次年度以降の取り組み方針	新型コロナウイルス感染症の影響等により、観光産業を中心に大きな影響を受けているが、企業・事業者支援、創業支援、就農支援など各種施策を展開したことにより、一定の雇用の確保ができたものとする。 今後は、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えながら、引き続き各関係機関と協力し雇用の確保を図るとともに、コロナ禍において落ち込む観光需要の回復を図るため効果的な施策を実施していく。
-------------------------	--

戦略目標 4 安全・安心で住み続けられるまち相生～元気づくり～

基本方針	持続可能な定住性の高いまちを目指すため、災害に強いまちづくりの推進や地域の人をつなぐ仕組みづくりなどいつまでも健康で快適に暮らすことができるまちづくりを推進します。 また、多様な人材の活躍やSDGsなど新たな時代の要請にも適切に対応したまちづくりを推進します。							
	数値目標	指標	基準値	目標値	実績値			
	相生市に住み続けたいと思う人の割合	R2	R7	R3	R4	R5	R6	R7
		70.0%	71.0%	70.0%				
		達成率 (%)		98.6%				

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	目標値	実績値					
		R1 (R2)	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
施策 1	安全・安心に暮らせるまちづくり								
	刑法犯認知件数	106件	75件	93件					
		達成率 (%)		41.9%					
	災害に対する備えは十分であると思う人の割合	40.0%	43.0%	40.0%					
達成率 (%)		93.0%							
施策 2	健康長寿なまちづくり								
	健康づくりと予防対策が充実していると思う人の割合	44.2%	47.0%	44.2%					
		達成率 (%)		94.0%					
施策 3	多様な主体による連携・協働のまちづくり								
	協働によるまちづくりが進んでいると思う人の割合	19.1%	24.0%	19.1%					
		達成率 (%)		79.6%					

※「災害に対する備えは十分であると思う人の割合」、「健康づくりと予防対策が充実していると思う人の割合」、「協働によるまちづくりが進んでいると思う人の割合」の基準値は、R2アンケートの結果

数値目標に対する評価と次年度以降の取り組み方針	防犯灯や防犯カメラの設置助成など、地域の防犯環境の整備により、刑法犯認知件数の減少に寄与していると考えられる。また、地域に必要な福祉サービスやライフステージに応じた社会教育体制の充実が、市民の健康で快適な生活につながっており、相生市に住み続けたいと思う人の割合が維持できていると考える。 引き続き、市民一人ひとりが生きがいを持ち、健康で安心して生活を送れるよう各種施策を実施するとともに、市民と協働のまちづくり推進のため、関係機関と連携を図りながら、地域活動の支援に努める。さらに、新たな時代のニーズ対応できるよう、社会情勢に注視しながら施策を実施していく。
-------------------------	--